

児童の書字の外形の実態調査と授業実践

An Investigation into Actual Conditions of the External Forms of Children's Handwriting and Classroom Practice

芹澤麻美子

SERIZAWA Mamiko

はじめに

二〇二〇年一月に文部科学省から「教育の情報化」GIGAスクール構想の実現」が公示され、児童・生徒に一人一台PC端末を配布することが明記されている。またオンライン学習が実施されるなど、ICT教育が進む今、活字を目にする機会は更に増えている。教科書や教育現場で使用されるワークシートなどの活字は、教科書体を使用されることが多いが、本やネット上の活字は、明朝体や角ゴシック・丸ゴシックなどが通用される。これらの活字は、効率の観点から様々な字形を正方形に収まるように構成される。普段、活字を目にする機会が多く、見慣れている影響からか、文字の外形を活字のように正方形に書いてしまう児童が近年、多くみられる。

小学第一学年では八十字の漢字を学習する。最初の漢字の学習ということもあり、筆順やとめ・はね・はらいなど細かく指導されている。一方で、学年が上がるに連れて学習漢字が増え、三年次には一年間で二〇〇字もの漢字を習得することになっている。児童の漢字練習帳やノートを見ると、書くペースも速くなり、文字の外形のほとんどが正方形や長方形に収まる字形になってしまっているものが散見される。また、小学第三学年以降の新出漢字に、左右から成る漢字の学習がより多くなっている。これもまた偏旁の関係性がまだ理解できていないのか偏と旁が一つ一つ独立した漢字に見えてしまう傾向がある。

そこで、本研究では、小学校で学習する左右から成る漢字の外形での分類と、第三学年の児童が書く文字の外形の実態調査を行い、文字の外形と字形を整えて書くことができるよう授業実践を行う。

一、文字の外形に関する先行研究

文字の外形を意識して書くことは、文字を整えて書く方法のひとつとしてあげられる。これについては内藤・小川・押木が「手書き文字の外形特徴に関する基礎的研究」¹⁾で以下のように述べる。

文字の概形に着目するという考え方は、現行の小学校低学年用書写教科書に必ず採用されているばかりでなく、古典的文献にも見られる。これらから、文字の認識・美感等において概形が重要な要素となっていることが予想される。ただし、書写教科書などにおける概形の捉え方は必ずしも一定とは言えず、またそれに関する研究も決して多いとは言えない。

確かに現行の書写教科書での学年でも外形に関する項目があるが、教科書によって提示方法が異なる。また、平形は「字形要素による学習漢字の分類（Ⅱ）」²⁾において、左右から成る漢字を偏旁の高低関係で分類し、標準字体と三つの字典等をもとに偏旁の高低関係について記している。さらにこの研究をもとにして、押木・岡本は「左右の部分形から構成される漢字の字形に関する研究（Ⅰ）——縦方向の大きさに関する感覚と要素」³⁾で左右の部分形から構成される漢字について、その部分形の大きさ（縦方向）に限定し、計量的手法により、部分形から構成される漢字（十八種）の左右の高さを

一〇%ずつ変化させたサンプルを作成した。バランスの適不適についての主観評価での調査を行い、字形感覚を明らかにした。

また、現行の書写教科書では、全ての教科書において小学第一学年の教科書から外形について記されている。また左右から成る漢字の整え方については、どの教科書でも第三学年において、左右から成る漢字の偏旁の幅や偏旁を近づけて書くことの記載がある。第四学年になると、左右から成る漢字の組み立て方の毛筆での学習があり、左右から成る漢字の組み立て方として、第四学年の教科書に掲載されている整え方を示す。⁴⁾

★左右の部分を書くときは、それぞれはばをせまくして、場所をゆずり合う。

★左の部分を書くときのポイント。

- ① 右はしをそろえる。
- ② 「横画」は、右上がりに書く。
- ③ 「たて画」は、右よりに書く。

いずれの教科書においても、左右から成る漢字の整え方の提示は類似する。第三、四学年の二度に渡り、左右から成る漢字の整え方が示されるのは、左右から成る漢字が学習漢字の中で比率として多いことが起因している。具体数については後述するが、二度の学習を経るに至るのは、習得の難しさにも影響がないとも言い切れないの

ではないだろうか。

二、小学校第六学年までに学習する左右から成る漢字の比率とその

外形分類

小学校では六年間で計一〇二六字の漢字を学習する。その中の左右から成る漢字の比率は、【図1】のようになる。一年生で学習す

る漢字の中で、左右から成る漢字は六字（八％）と低い。二年生からは五〇字以上になり、六年間では、一〇二六字中四六六字と学習漢字の四〇％以上が左右から成る漢字になる。

左右から成る漢字は、図形で分類すると、「正方形になる」と教科書やワーク等にも示されているが、実際は外形が正方形になる文字は僅少であ

【図1】左右から成る漢字の比率

	学習漢字	左右から成る漢字
第一学年	80	6 (8%)
第二学年	160	52 (33%)
第三学年	200	88 (44%)
第四学年	202	98 (49%)
第五学年	193	108 (56%)
第六学年	191	94 (49%)

る。本研究では、左右から成る漢字を

【資料1】の

ように学年別に分類した。

左右から成る

漢字の分類は

A～Uまでの

全二一種類とした（【図2】）。最も多い形は偏が細く小さく、旁が偏よりも縦・横ともに長い形の「休」、「体」、「脈」、「胸」等が該当するNである。この外形は全二二種中に占める割合の一六％に及ぶ。外形が正方形になる漢字はないが、正方形に近い形はDの「館」や「能」、「願」、「補」などで全体のわずか三％だった。偏と旁が同じ横幅になる外形はDのみであり、他の外形は全て偏の横幅が異なる。

前述の通り、左右から成る漢字で外形が正方形になるものは僅少で、通常は偏が上下にずれたり、縦・横幅に違いがある文字が大半を占めている。

【図2】左右から成る文字の外形分類

	O		H		A
	P		I		B
	Q		J		C
	R		K		D
	S		L		E
	T		M		F
	U		N		G

【図3】実態調査ワークシート

文字の外形を考えよう！

鳴	時	ためし書き
間	活	
番	理	
光	妹	
買	動	

年 組 番 ()

三、児童の書字の外形の実態例と問題点について

児童が書く文字の外形の実態調査は、【図3】のワークシートで行った。調査を行った文字は、左右から成る漢字の「時・活・理・妹・動・鳴」、外形が正方形に近い「間」、外形が五角形の「番」、外形が三角形の「光」、外形が台形の「買」である。マス目の上の書字する文字を示す活字は、日常生活において目にすることが多いと考える角ゴシック体とした。

実態調査の結果、左右から成る漢字は、偏と旁の間が離れてしまう書き方が全体の三分の一以上に上った（【図4】）。次に偏と旁の

【図4】偏と旁の間が離れる書き方



【図5】偏と旁の幅を同じにしてしまう書き方



【図6】横画が同じ長さになってしまう書き方



幅を同じにしてしまう書き方（【図5】）、横画が複数ある場合は、【図6】のように全ての横画が同じ長さになってしまう書き方がみられた。

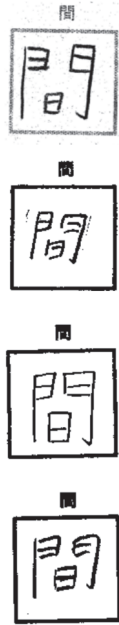
左右から成る漢字以外の書字の問題点は、文字の外形が正方形または長方形に収まる外形で書かれる文字が最も多かったことである（【図7】）。特に「番」は長方形、「光」は正方形に収まる形で書く書き方が多くみられた。

「問」の外形は正方形だが、細かくみると中に書く「日」は、門がまえより少し上になる。しかし、【図8】のように門がまえと「日」の下部が揃ってしまう書き方が多くみられた。また、門がまえの二画目の縦画と六画目の縦画は垂直に書くが、六画目の縦画が右に倒れている書き方も多くみられた。

【図7】外形が正方形または長方形になる書き方



【図8】門がまえと「日」の下部が揃う書き方



また、全体を通して横画が右に上がらないという問題がある。右から成る漢字の偏は横画が更に右上がりになるが、偏の横画の角度が上りにくい傾向があった。

その他、一字ずつの問題点は以下の通りである。

時……「寺」の四画目の横画が最も長くなる。「寸」の横と縦が真中

で交わる。

活……「舌」の左はらいと横画と「口」の幅がそろっている。

「口」の縦画を垂直に書く。

理……明らかに王へんが小さい。「里」の横画の長さがそろっていない。

妹……「末」の横画と右はらいが同じ幅になる。女偏の右上払いが

横画になっている。

動……偏旁の高さがそろっていない。「重」の最終画が横画になっている。

鳴……「口」の下に烈火の一画目が書かれていない。「口」偏が離

れたり上上がったりしてしまう。

問……門がまえの右側が左側よりも下がってしまう。

番……五角形にならない（横画が左右のはらいと同じ幅）。

「田」が正方形になってしまう。

光……横画と左はらい・曲がりの幅が同じ。上部の始筆の位置が横

一線になってしまう。

買……「四」が縦にのびている。「貝」の縦画が内側に入っている。

四、文字の外形に関する授業実践

実態調査から、児童が書く文字の問題点として以下四点が挙げら

れる。

- ・ 左右から成る漢字の偏旁が離れる。
- ・ 偏旁の縦・横幅が同じ幅になる。

- ・ 複数の横画がある場合、同じ長さになる。

- ・ 横画が右に上がらない。

以上の実態を受けて、二時間構成の左右から成る漢字の字形の整え方を考える授業を行った。

対象学年は、第三学年である。三年生で学習する漢字は、半数近

くが左右から成る漢字となっている。以下に学習の進め方の授業記録を示す。

・ 第一時限

【本時のねらい】

- ①さまざまな文字の外形があることを理解する。
- ②外形を考えて文字を書くことができる。

【学習の展開】

学習活動	指導上の留意点	評価基準	評価方法
1. 試し書きをする（ワークシートA）。	・ 姿勢と持ち方に気をつけるように声をかける。	・ 姿勢と持ち方に気をつけて丁寧に文字を書いている。	学習態度
2. 【ワークシートA】を回収する。			
3. 本時のめあてを確認する。 【さまざまな文字の外形を知らう！】			
4. 外形とは何か理解する。	・ 外形とは、文字の外側の形のことを示す。伝える。	・ 外形とは何か理解している。	学習態度
5. 【ワークシートB】① 文字の外形を考えて線で結ぶ。	・ 外形がわからない場合は、教科書を見て考えるように指導する。		ワークシート
6. 近くの人と意見を交換しながら外形を考える。	・ ゴンゴン体に移われないように声を掛ける。	・ 主体的、対話的に学習に取り組むことができる。	学習態度
7. 5の答え合わせをする。	・ 自分と友達の見え方が同じか話し合うように指示する。		
8. 【ワークシートB】② 外形を考えて文字を書く。	・ 「文字すつ、外形を示しながら答え合わせをする。	・ 外形に気づけて文字を書くことができる。	ワークシート
9. 【ワークシートB】③ これまでに学習した漢字の中で、最も多いと思う外形に○をつける。	・ 外形を意識して書くよう促す。		学習態度
10. 最も多い外形は正方形であることを理解する。	・ 「図」や「国」のように囲う文字だけでなく、左右で成り立つ漢字も大きく分けると方形に分類されることを伝える。		
11. 【ワークシートB】④ 教科書を見ながら、これまでに学習した漢字の中で外形が正方形のものを探して書く、ワークシートを回収する。	・ たくさん見つけるのではなく、外形を意識して正しい姿勢、持ち方で書くように指示する。		ワークシート

・ 第二時限

【本時のねらい】

- ①左右から成る漢字の偏旁の幅や画の接し方・交わり方を考えて書くことができる。
- ②外形・字形のとり方を理解している。

【学習の展開】

学習活動	指導上の留意点	評価基準	評価方法
1. 前回の復習を行う。	・文字の外形は多様だが、一番多い外形は正方形であったことを復習する。	・前回の学習を理解している。	学習態度
2. 本時のめあてを確認する。 左右で成り立つ漢字の字形を考えよう！			
3. ワークシート①に取り組む。	・左右で成り立つ文字の外形は本当に正方形なのか、ワークシート①で確かめるよう促す。	・左右で成り立つ文字の外形は正確には正方形にならないことを理解する。	ワークシート
4. ワークシート②に取り組む。	・左右の部分の幅は文字よってかわることに、偏は縦長になることを伝える。	・偏の幅と位置を考えて書くことができる。	ワークシート
5. ワークシート③に取り組む。	・偏の幅だけでなく、面の長短や面の接し方・交わり方が異なり、横画は右上がりになることを伝える。	・偏の幅と位置を考えて書くことができる。	ワークシート
6. 近くの友達と見せ合い、字形を整えて書くことができるか確認する。	・面の長短や横画の角度などに気をつけて書くことができるか見合うように指示する。	・面の長短や接し方・交わり方、横画の角度に気をつけて書くことができる。	学習態度
7. 前回のためし書きのプリントを返却し、まとめ書きのプリントを配布する。	・ためし書きで書いた文字の字形はどうか、見直すように指示する。	・前回書いた文字の問題点を捉えられている。	学習態度
8. まとめ書きを行う。	・本時で学習したワークシートを確認しながら進めるように促す。	・本時で学習した字形・外形のとり方を生かすことができている。	ワークシート
9. まとめを行う。	・まとめを読みながら一緒に答えを書いていくようにする。	・左右で成り立つ文字の組み立て方、外形・字形の	学習態度

10. ためし書きとまとめ書きの文字を比較する。	・どこが良くなったか、何が良かったか発表する。	とり方を理解できている。	学習態度
11. ためし書き・まとめ書き・ワークシートの3点を回収する。			

本授業実践では、ワークシートを二枚作成した（図9、10）。実態調査で文字の外形を正方形や長方形に書いてしまう児童が多かった。したがって一時限では文字にはさまざまな外形があることを理解できるように図形に当てはめて文字を書くワークを作成した。また、外形を意識して書くことにより、文字が整うことを理解できるように授業を実施した。ワークシートAの①に取り組む際に、複数の児童から「全部正方形にしか見えない！」と発言があった。書写の教科書や実際に自分で文字を書くことや、友達と考えを出し合いながら進めることにより、答えに結びつけることが出来ていた（図11）。ワークシートAの②は、外形を意識しながら書くよう指導した。②の文字は、「間・黒・切・婦・番・買・光」の七文字とした。「黒」は、外形を台形に書くことができている児童が多かったが、「番」と「光」は、外形が五角形と三角形だと認識していても、外形が長方形または正方形になる書き方が多くみられた。はらいや曲がりを最大幅にすることは児童にとって難しい印象を受けた。ワークシートAの③では、児童が考える今まで学習した漢字で一

【図10】ワークシートB

左で成り立つ漢字の字形を答えよう！

① 左に成り立つ漢字の字形を答えよう！

② 左の漢字の字形を答えよう！

③ どの漢字の字形が正しいか？

④ どの漢字の字形が正しいか？

⑤ どの漢字の字形が正しいか？

⑥ どの漢字の字形が正しいか？

⑦ どの漢字の字形が正しいか？

⑧ どの漢字の字形が正しいか？

⑨ どの漢字の字形が正しいか？

⑩ どの漢字の字形が正しいか？

⑪ どの漢字の字形が正しいか？

⑫ どの漢字の字形が正しいか？

⑬ どの漢字の字形が正しいか？

⑭ どの漢字の字形が正しいか？

⑮ どの漢字の字形が正しいか？

⑯ どの漢字の字形が正しいか？

⑰ どの漢字の字形が正しいか？

⑱ どの漢字の字形が正しいか？

⑲ どの漢字の字形が正しいか？

⑳ どの漢字の字形が正しいか？

㉑ どの漢字の字形が正しいか？

㉒ どの漢字の字形が正しいか？

㉓ どの漢字の字形が正しいか？

㉔ どの漢字の字形が正しいか？

㉕ どの漢字の字形が正しいか？

㉖ どの漢字の字形が正しいか？

㉗ どの漢字の字形が正しいか？

㉘ どの漢字の字形が正しいか？

㉙ どの漢字の字形が正しいか？

㉚ どの漢字の字形が正しいか？

㉛ どの漢字の字形が正しいか？

㉜ どの漢字の字形が正しいか？

㉝ どの漢字の字形が正しいか？

㉞ どの漢字の字形が正しいか？

㉟ どの漢字の字形が正しいか？

㊱ どの漢字の字形が正しいか？

㊲ どの漢字の字形が正しいか？

㊳ どの漢字の字形が正しいか？

㊴ どの漢字の字形が正しいか？

㊵ どの漢字の字形が正しいか？

㊶ どの漢字の字形が正しいか？

㊷ どの漢字の字形が正しいか？

㊸ どの漢字の字形が正しいか？

㊹ どの漢字の字形が正しいか？

㊺ どの漢字の字形が正しいか？

㊻ どの漢字の字形が正しいか？

㊼ どの漢字の字形が正しいか？

㊽ どの漢字の字形が正しいか？

㊾ どの漢字の字形が正しいか？

㊿ どの漢字の字形が正しいか？

【図9】ワークシートA

左で成り立つ漢字の字形を答えよう！

① 左に成り立つ漢字の字形を答えよう！

② 左の漢字の字形を答えよう！

③ どの漢字の字形が正しいか？

④ どの漢字の字形が正しいか？

⑤ どの漢字の字形が正しいか？

⑥ どの漢字の字形が正しいか？

⑦ どの漢字の字形が正しいか？

⑧ どの漢字の字形が正しいか？

⑨ どの漢字の字形が正しいか？

⑩ どの漢字の字形が正しいか？

⑪ どの漢字の字形が正しいか？

⑫ どの漢字の字形が正しいか？

⑬ どの漢字の字形が正しいか？

⑭ どの漢字の字形が正しいか？

⑮ どの漢字の字形が正しいか？

⑯ どの漢字の字形が正しいか？

⑰ どの漢字の字形が正しいか？

⑱ どの漢字の字形が正しいか？

⑲ どの漢字の字形が正しいか？

⑳ どの漢字の字形が正しいか？

㉑ どの漢字の字形が正しいか？

㉒ どの漢字の字形が正しいか？

㉓ どの漢字の字形が正しいか？

㉔ どの漢字の字形が正しいか？

㉕ どの漢字の字形が正しいか？

㉖ どの漢字の字形が正しいか？

㉗ どの漢字の字形が正しいか？

㉘ どの漢字の字形が正しいか？

㉙ どの漢字の字形が正しいか？

㉚ どの漢字の字形が正しいか？

㉛ どの漢字の字形が正しいか？

㉜ どの漢字の字形が正しいか？

㉝ どの漢字の字形が正しいか？

㉞ どの漢字の字形が正しいか？

㉟ どの漢字の字形が正しいか？

㊱ どの漢字の字形が正しいか？

㊲ どの漢字の字形が正しいか？

㊳ どの漢字の字形が正しいか？

㊴ どの漢字の字形が正しいか？

㊵ どの漢字の字形が正しいか？

㊶ どの漢字の字形が正しいか？

㊷ どの漢字の字形が正しいか？

㊸ どの漢字の字形が正しいか？

㊹ どの漢字の字形が正しいか？

㊺ どの漢字の字形が正しいか？

㊻ どの漢字の字形が正しいか？

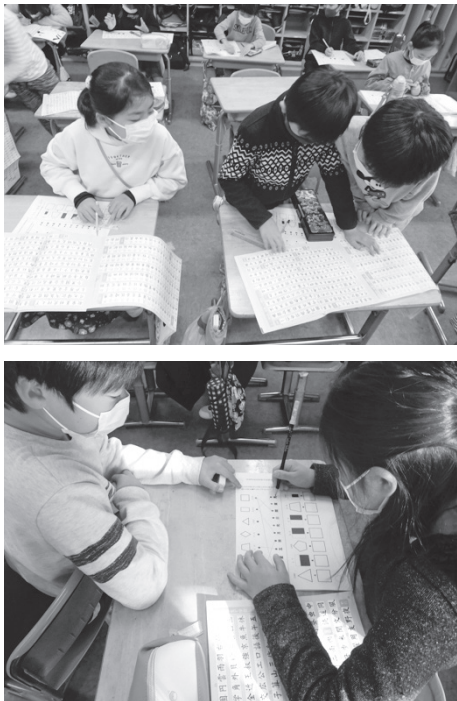
㊼ どの漢字の字形が正しいか？

㊽ どの漢字の字形が正しいか？

㊾ どの漢字の字形が正しいか？

㊿ どの漢字の字形が正しいか？

【図11】授業の様子



【グラフ2】の通りである。

実際には、左右から成る漢字を全て正方形に区分すると、一番多い外形は正方形、二番目に多い外形は五角形、三番目に六角形という順になる。台形とひし形は四番目となるので児童の解答は比較的確といえる。ワークシートAの③の解答は、正方形になるので、最後に外形が正方形になる形の漢字を正しく整えて書くよう促し、教科書などから探して書いた。

第二時限はワークシートB（【図10】）を用いて実施した。前回の授業では、左右から成る漢字は全て正方形としていたが、左右から

【グラフ2】児童が習得漢字で最も多い思う外形

63	正方形
0	長方形
0	三角形
0	ひし形
8	台形
15	五角形
19	六角形

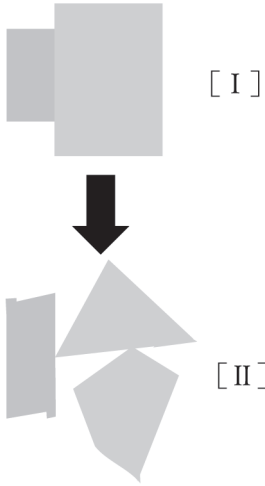
成る漢字の外形が正確に正方形になるものはない。第二時限では、左右から成る漢字の外形をワークシートBの下部のように作成した。ワークシート

Bの上段のような外形に

偏旁を入れ込む形は、教科書やワークなどにある外形である。本研究では、偏旁の幅や位置、大きさだけでなく、更に文字の外形を【図12】のように詳細に作成した。【図12】Iの外形では、偏旁の幅や位置、大きさが理解できる。これに加えIIの外形では、点画それぞれの長さや接し方、交わり方、そして横画の角度を理解することができると考えられた。

一、二時限のまとめは、【図13】のワークシートCを使用した。

【図12】「時」の字の外形



ためし書きで書字した漢字と同じ十字と二時限分のまとめを行った。

まとめでは、空欄部分を児童が発表し、クラス全員で確認しながら一緒に穴埋めを行った。

【図14、15】に授業の板書を掲載する。

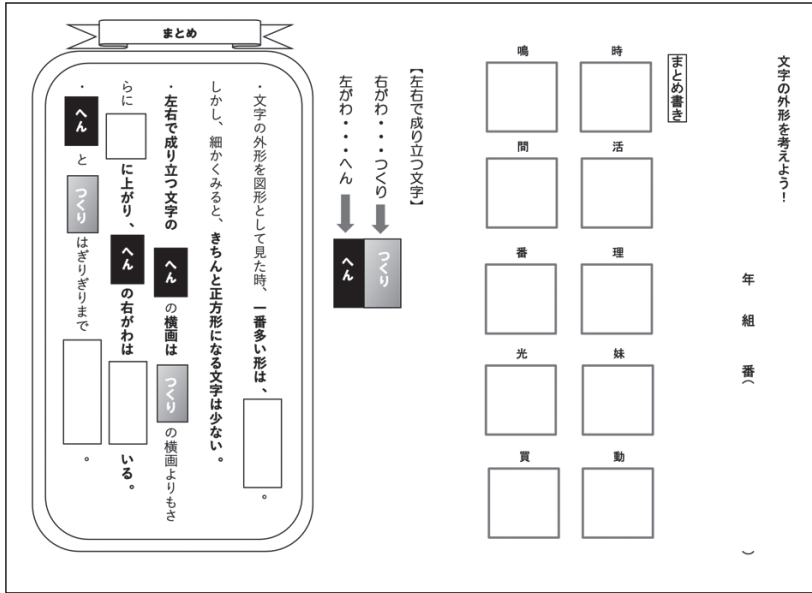
五、授業実践後の検証

児童一〇五名の外形を中心とした書字実態と授業実践後の書字の実態で外形が適切なものを「○」で示した（資料2）。適切な書き方の判断基準は、以下の通りである。

- ①文字の外形を意識して点画の長短を書けているか。
 - ②偏旁の間が離れずに書けているか。
 - ③偏旁の位置関係を意識して書けているか。
 - ④横画を右上がりに書くことができているか。
- 今回は外形と字形に特化した研究であるため、運筆や基本点画の書き方は対象としない。

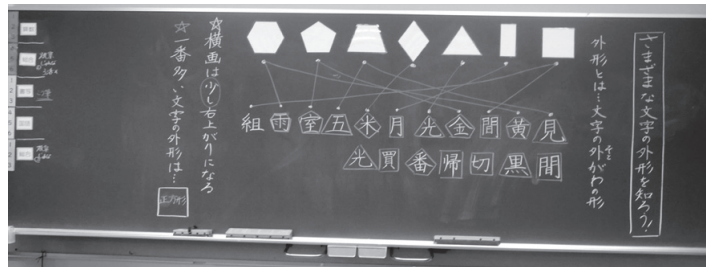
実態調査から授業実践後の文字を適切に書くことができていない児童は、一〇五名中、八十八名だった。実態調査では偏旁が離れてしまいう児童が多かったが、実践後は偏旁を離さずに書くことができていた児童が多くみられた。実践前後で一字ずつ比較しても、全ての文字が適切に書くことができる割合が高くなっている。

【図13】ワークシートC

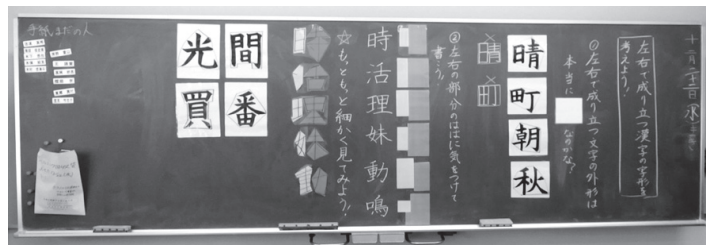


ワークシートBの②【図12】I)では、偏旁の位置は意識して書くことができた児童がみられたが、その後のワークシートBの③【図12】II)の外形により、字形を考えて点画の長短や接し方・交

【図14】第1時限板書

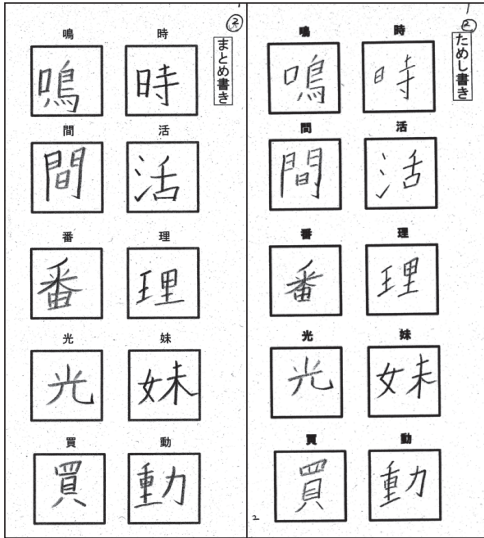


【図15】第2時限板書



わり方を意識して書くことができる児童が多くみられた。
 児童の試し書きとまとめ書きの書字例を四名分掲載する。【図16】
 Aさん・【図17】Bさんの文字は、試し書きでは偏旁が離れているが、まとめ書きで偏旁の間を開けずに書くことができています。【図18】Cさんは、点画の接し方や交わり方を意識して書くことができ

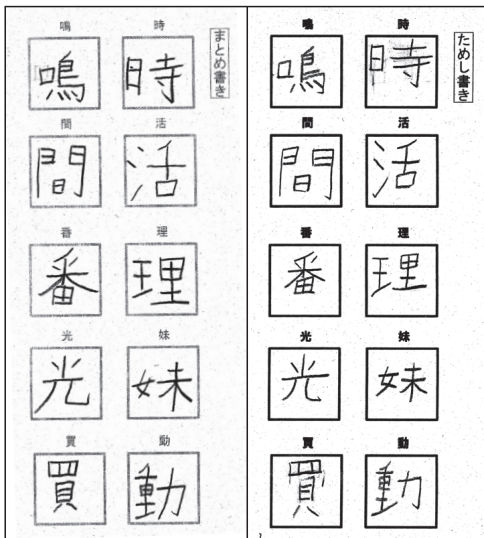
【図16】 Aさん



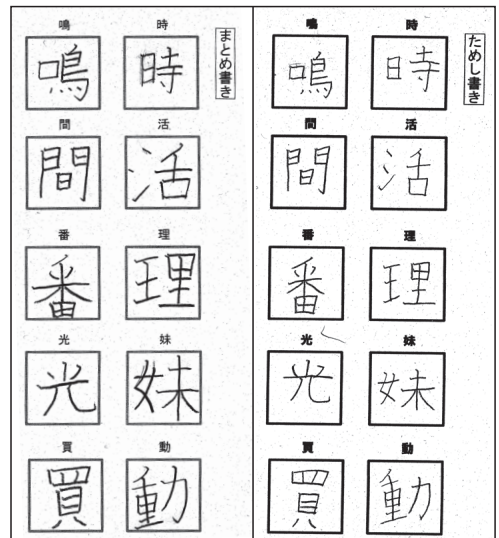
ている。実態調査では「さんずい」が長方形に収まる形で書いているが、実践後は「さんずい」の外形を考えることができています。また「理」や「番」、「光」の字も点画の長短などが整っている。【図19】Dさんは、実態調査では文字の幅がそろってしまいう文字が多かったが、実践後は横画やはらいの長さなど意識して字形が実践前よりも整っている。

紙面の関係上、この四名分のみ掲載となったが、他の児童の文字も実態調査よりも偏旁の組み合わせ方や点画の長さを意識して書くことができている児童が多くみられた。

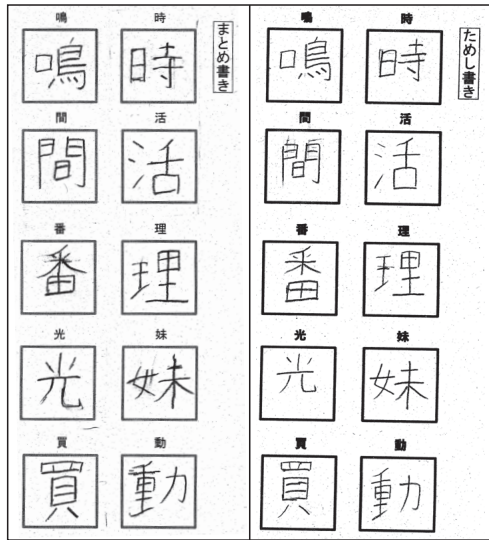
【図18】 Cさん



【図17】 Bさん



【図19】 Dさん



おわりに

本研究では、児童の書字の外形が正方形や長方形になる傾向があることから、文字の外形をより詳細に示した【図12】Ⅱのような外形を用いて実践を行った。実践の結果、多くの児童が文字の外形を意識して書くことができ、実践前後の結果をまとめたデータをみると整えて書けるようになっていた。しかし、実践直後にまじめ書きを行ったため、【ワークシートB】③を見ながら書く授業形式となった。その結果としてより効果が出たこともあるが、児童が外形の学習を通して、正しく整った字形を一旦は理解出来た。

また書写の授業での実践ということもあり、日常で書字している文字と大きく異なるケースもある。書写の授業だけでなく、日常的に文字を整えて書くことができるようになることを目指した実践を行うことも肝要である。

本研究では児童一〇五名の外形・字形の調査を行ったが、これはあくまでも一種の網羅的研究である。今後は児童一人一人の実態や問題点にも着目し、外形や字形の変化を追って分析を行うことも必要であると考えている。

注

(1) 内藤仁之・小川美帆・押木秀樹「手書き文字の概形特徴に関する

基礎的研究」『書写書道教育研究』第十三号・一九九九

(2) 平形精一「字形要素による学習漢字の分類(Ⅱ)」『書写書道教育

研究』第五号・一九九一

(3) 「左右の部分形から構成される漢字の字形に関する研究(Ⅰ)」

縦方向の大きさに関する感覚と要素」『書写書道教育研究』第十

号・一九九六

(4) 『四年書写』光村図書・二〇二〇

6	5	4	3	2	1		
姉	妹	時	場	曜	晴		A
					活		B
							C
			形	弱	羽		D
				細	知		E
			顔	行	朝		F
	後	語	地	北	話		G
記	教	船	組	親	数		H
				何	新		I
							J
							K
科	外	計	線	頭	読		L
					社		M
海	汽	帰	強	作	体		N
		引	紙	野	理		O
							P
					絵		Q
			歌	秋	池		R
							S
					鳴		T
				明	切		U

〔第一学年〕

2	1		
			A
			B
			C
			D
			E
			F
	村		G
			H
			I
	町		J
			K
竹	林		L
			M
	休		N
			O
			P
	校		Q
			R
			S
			T
			U

〔第一学年〕

【資料1】左右から成る漢字の外形での分類

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
	媛	塩	旗	埼	崎	昨	城	的	冷			A
				協	競	治	阪	浴	説			B
						刷	副	利	別			C
								願	験			D
									加			E
								栃	飯			F
				億	佐	統	隊	徒	徳			G
									札			H
初	縄	標	輪	類	訓	静	折	灯	録			I
								課	観			
									印			J
									郡			K
	鏡	辞	順	戦	孫	敗	群	残	試			L
	給	極	祝	松	牧	約	怪	散	伝			M
博	付	満	械	渴	清	積	浅	特	漁			N
	機	讓	健	材	借	焼	仲	冲	低			
						好	料	梅	便			O
												P
							位	泣	種			Q
					結	滋	信	陸	法			R
									唱			S
												T
							改	岐	功			U

〔第四学年〕

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1				
						暗	次	昭	球	坂			A
					様	横	温	秒	役	終			B
										列			C
										館			D
									畑	和			E
								配	物	根			F
		院	階	決	使	始	倍	流	港			G	
								相	駅	取			H
調	動	服	福	酒	打	短	投	板	緑			I	
									銀	帳			
													J
								期	部	都			K
				所	放	旅	神	族	対	路			L
	軽	指	柱	飲	級	捨	植	転	礼			M	
陽	泳	消	勝	待	代	鉄	湯	練	洋			N	
						漢	係	詩	持	波			
							研	談	橋	深			O
													P
									住	化			Q
							仕	注	他	油			R
										味			S
													T
										助			U

〔第三学年〕

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
							域	暖	晚		A
		沿	捨	推	陞	供	純	糖	模		B
						割	劇	刻	創		C
					敬	就	補	乱	難		D
						紅	私	収	仁		E
		絹	視	詞	拝	訪	机	探	論		F
						誌	諸	洗	值		G
					敵	乳	拡	段	枚		H
		誤	射	訳	揮	操	疑	鋼	誕		I
											J
								勤	郵		K
				針	誠	銭	幼	臨	頂		L
						担	批	秘	腦		M
除	将	派	肺	俳	株	権	俵	腹	胸		N
	磁	傷	障	腸	優	律	臓	棒	濟		
				討	預	欲	郎	降	源		O
						縮	認	納	穀		P
									徒		Q
											R
								呼	吸		S
											T
								映	砂		U

〔第六学年〕

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
眼	規	境	均	増	則	貯	破	婦	略		A	
技	検	限	混	枝	授	総	張	統	複		B	
								刊	判		C	
					救	殺	雜	制	能		D	
								価	似		E	
						額	師	飼	断		F	
						復	防	険	比		G	
								紀	航	絶		H
格	説	損	提	銅	版	評	粉	編	論		I	
						桜	仮	河	解			
											J	
											K	
					確	財	政	務	耕	精		L
鈷	招	証	税	程	任	犯	肥	仏	報		M	
								経	個			
護	構	講	際	積	祖	像	停	備	脈		N	
						液	演	潔	件	減		
許	効	得	燃	保	綿	額	慣	採	情		O	
								移	幹			
											P	
					往	快	状	性	接	独		Q
											R	
											S	
											T	
								現	故	酸		U

〔第五学年〕

